

令和6年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

秋田県

| | |
|---------|-----------------------------|
| 行事名称 | 第71回古四王神社文化財防火デー |
| 実施期間・日時 | 令和7年1月26日(日) 午前10時～午前10時40分 |
| 実施場所 | 国指定重要文化財 古四王神社境内 |
| 主催者 | 古四王堂火消しもち祭り実行委員会 |

■実施内容

訓練の想定

古四王神社拝殿内のろうそくが倒れ出火し、国指定重要文化財古四王神社本殿に延焼する恐れがあると想定。消防への通報と近隣住民への火事ぶれを行い、ポンプ車による中継放水や放水銃にて消火活動を実施。

訓練の内容

拝殿から煙が出ているのを地域住民が発見し、付近へ火事ぶれ。自動火災報知設備の発信機ボタンを押す。ベルが鳴動し、連動して消防署へ通報されるほか、地域住民と文化財課担当職員へ順次火事を知らせる電話がかかる。駆けつけた地域住民、消防団、少年消防クラブ、消防署による消火活動。訓練終了後、消防署より講評を受ける。

参加者及び役割分担

大曲仙北広域消防本部、大曲消防署(15名)：防火訓練全体統括、指揮、講評

大仙市大曲消防団第一分団(15名)：放水訓練

地域住民(40名)：火事発見、通報、重要物品の搬出、避難誘導

東大曲小学校児童・教職員・保護者(120名)：少年消防クラブ、放水銃訓練体験(8人)

大仙市総合防災課(2名)、文化財課(3名)：防火訓練等庶務、訓練補助、機材等準備

特に工夫した点

- ・事前にチラシを配付して、地域住民の参加を促した。
- ・訓練時に消防署の方から状況説明をしてもらい、訓練の目的や流れが参加者全員に伝わるようにした。
- ・消防設備点検業者に立ち会いを依頼し、設備の稼働状況の確認を行いながら実施した。

問題点・課題

- ・境内内の消火器設置箇所や、緊急時連絡先の確認など、定期的な消防点検等を行い有事に備える。

その他

・毎年文化財防火デーの時期にあわせて消防訓練を行うことで、地元消防団や地区住民の文化財愛護意識の高揚を図り、防災の必要性を確認する機会となっており、今後も継続して実施することが重要。

訓練風景



開会式の様子



少年消防クラブによる放水銃訓練

